

錦町の戦争資料館 運営改善など要望

町に市民2団体

県内の戦争遺跡の保存に

関わる二つの市民団体が7日、錦町に8月開館した町立人吉海軍航空基地資料館の運営などに対する改善要望書を同町に提出した。

要望したのは、人吉・球磨の戦争遺跡を伝えるネットワーク(山下完二代表)と、くまもと戦争遺跡・文化遺産ネットワーク(高谷

和生代表)。申し入れ事項は①資料館設置条例への「平和希求」文言の挿入②資料館の愛称(山の中の海軍の町)にしき ひみつ基地ミュージアム)から「ひみつ基地」を削除する③有識者や町民が参加する「運営協議会」の設置と議論の公開④航空基地の規模や範

囲に関する根拠データの開示など8項目。これに対し森本完一町長は、条例への文言挿入や愛称変更、協議会設置は考えていないことをあらためて言明し、根拠データ開示については後日回答するとした。

高谷代表は「税金を使った施設であり、寄せられる多様な声には、対話の扉を開いてほしい」と話している。(永柄信行)